



# 岩江中だより

第37号

発行日：平成27年 1月27日  
発行：三春町立岩江中学校  
電話：0247-62-8290  
FAX：0247-62-8380  
E-mail: school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～

【昨年末の学校アンケートへのご理解・ご協力ありがとうございました。

～反省をもとに、課題を明確にし、改善策に具体的に取り組みます！～】

『こころ豊かに』～共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校～の経営方針のもと、教育目標『自立』と4つの視点「真理」「博愛」「健康」「貢献」、めざす生徒像の実現にむけスタートした平成26年度、岩江中学校は、年度のまとめと27年度の準備の時期を迎えています。校内で行う学期の反省や昨年末にご協力いただいた学校アンケートの結果等をもとに、第3学期の充実と平成27年度の学校の進むべき方向性について協議し、取り組みを継続しているところです。

もちろん、教育活動のさらなる充実にむけては、今までもそうであったように、保護者や地域のみなさんとの「連携」は欠かすことはできません。本号では、アンケート結果等によって導き出した岩江中学校としての考え方や取り組みについてお知らせいたします。

〔平成26年度第3学期からの岩江中学校の取り組みについて〕 ※ No.はアンケート番号

## 1 第2学期終了時の経営方針への評価（教職員対象）では、

〔評価・課題となる欄〕

- ① No.1 『こころ豊かに』が意識化され、実現に向かいつつある。
- ② No.3 子どもたちが、「私にはこれがあります。」と言えるようになってきている。
- ③ No.5 子どもたちの可能性を信じ建設的に語り合う状況を意図的につくりたい。
- ④ No.8 教育の専門家として、努めて、説明責任、結果責任を果たそうとしている。
- ⑤ No.10 信頼関係を意識し、子どもたちを大切にしている。
- ⑥ No.12 不祥事絶無に着実に近づいている。

岩江中学校の取り組みの方向性について、先生方の自己評価が少しずつ上がってきているという傾向が読み取れます。子どもたちや保護者・地域のみなさんのアンケート結果との整合性をどう確保してくかということも今後の課題です。

## 2 学校評価アンケート結果から

（1）教職員評価では、

〔評価・課題となる欄〕

- ① No.9 自校の課題となる道徳性を自覚し、それに基づく指導を充実させたい。
- ② No.10 年間計画に基づき、道徳の時間の充実を図っている。
- ③ No.22 校務の分担を適切にし、職員集団として適切に機能することをさらにめざす。
- ④ No.24 組織的、計画的な校内研修に真摯に取り組むたい。
- ⑤ No.25 研究授業等を通じて授業の検討・改善を行っている。
- ⑥ No.26 社会の変化に即した課題を取り入れた校内研修も行いたい。

先生方の思いとしては、それぞれが学力向上をめざした授業改善を不断に行っているが、これからの世の中を見定めた課題についても取り組んでいきたいという希望をもっているということがわかる。また、学習指導要領の改善の視点からも、道徳教育をさらに充実させたいという考えをもっていることもわかる。

（2）生徒評価では、

〔評価・課題となる欄〕

- ① 集会等での校長講話は、さらに、個に応じ、わかりやすく伝える必要がある。
- ② わかりやすい授業を望み、わかった楽しさを求めているという生徒の思いを肝に銘じる。
- ③ わからないことでも遠慮せずに質問できる雰囲気が今以上に必要である。

- ④ カウンセリングマインド、教育相談体制の充実が必要である。
- ⑤ 学校行事への主体的な取り組みをさらに意識して計画・実施にありたい。
- ⑥ ノーディスプレイ運動について再確認をしなければならない。

校長の話や授業の中でも、わかりたい、できるようになりたいという思いを子どもたちはきちんともっている。そんな当たり前に思えることでも、教員として再確信していくことがとても重要だと考える。子どもたちの思いに寄り添い、『共に』考え、成長していける学校でありたい。ノーディスプレイ運動に関しては、さらに家庭との連携が必要である。

### （３）保護者評価では、

#### 〔評価・課題となる欄〕

- ① 「私にはこれがある」と言える子をめざし、活動により自尊感情をもたせていく。
- ② 子ども、保護者とのコミュニケーションをさらに心がけていく。
- ③ 少しのことでも質問しやすい雰囲気をつくり、「わかる」「できる」授業を推進する。
- ④ 基本的生活習慣の確立をめざし心と体の健康を具体的に働きかける。
- ⑤ ノーディスプレイ運動について積極的に連携して取り組んでいく。
- ⑥ 共に語り合い、共に学び合い、共に成長する学校づくりを心がける。

保護者の方々よりは、９割以上の方からＡ・Ｂ評価（好印象）をいただいた。保護者や地域の方々と密なる連携のもと、諸活動が充実しているのではないかとのご意見と受け止めたい。上記の内容を今後も継続していくと共に、残りの１割の方々に、『よくやっている』と言っていただけるよう、教職員一丸となって、粘り強く教育活動に取り組んでいく。

### ３ そこで、第３学期、そして、２７年度にむけての今後の取り組みは、

- （１）粘り強く、現在の取り組みを継続すると共に、**子ども一人ひとりに、「私にはこれがある。」という自尊感情を育てていく。**
- （２）「この子たちはできるはず」を念頭に、**建設的に語り合う時間と場を作り出す。**
- （３）教職員が**仲間として、お互いに、助け合い、励まし合って、教育の専門家として職務にあたる**という意識と態度をもつ。
- （４）相互の信頼関係を土台として、**共に語り合い、共に学び合い、共に成長し、共に『ここら豊かな学校』をめざす。**
- （５）**わかりやすい講話、わかりやすい授業のあり方について工夫し、「わかった。」「できた。」**という実感をより多く生徒に味わわせる。
- （６）**カウンセリングマインドをもち、聴く姿勢をこころがけ、生徒が困ったときに、「助けて。」と遠慮せずに言える雰囲気**を確立する。
- （７）『自立』と「真理」「博愛」「健康」「貢献」の４つの視点、めざす生徒像について、機会あるたびに示し、それを**意識した活動に取り組む。**
- （８）**基本的生活習慣を確立すると共に、ノーディスプレイ運動について積極的に推進する。**

現在、学校では、第３学期のさらなる充実をめざすと共に、平成２７年度の学校のあり方についても準備を着々と進めているところです。校内において、自ら平成２６年度を振り返ると共に、学校アンケートなどの結果も重視し、よりよい岩江中学校づくりに今後も取り組んでまいります。

### 【岩江中(含む周辺)点描 ～スイッチ、妖怪、給食、雀～】

かけていた２年生女子ホームベースのスイッチを交換しました。体育ではゆらゆらと妖怪体操を踊っていました。給食室ではみんな一緒に明治や昭和の給食を味わいました。あいさつ運動をしていると、何やらチュンチュンうるさいなと思ったら、電線にびっしり雀がとまっていました。３羽ではありませんでした。（若い方にはわかりませんね。）まだまだ寒さの残るこの季節ではありますが、そこには、確かな『生』が息づいています。

